

株 主 の 皆 様 へ

第 **125** 期 第2四半期のご報告

平成25年3月1日 ▶▶▶ 平成25年8月31日



東宝株式会社

証券コード：9602



島谷能成社長と大田圭二取締役から、急速に裾野が広がる映像ビジネスとともに進化を続ける映像事業部についてお話します。

東宝の新たな可能性を切り開く映像事業部

デジタル化で急速に拡大するビジネスチャンス

Q 東宝における映像事業部の役割を教えてください。

島谷 映像事業部はその名のとおりに「映像から派生したものをビジネスにする」部門です。映画を劇場以外で二次利用するなど映画製作・配給・興行の過程から派生する全ての利用、「映画のマルチユースを最大化する」のが映像事業部の仕事であり、東宝グループ映像ビジネスの中核部門の一つです。

大田 現状、具体的にはビデオソフトの制作・販売、東宝系の邦画・洋画の劇場用パンフレット・キャラクター商品の制作・販売等、物販を基幹事業とし、東宝の保持する著作権の営業、管理も担当しています。おかげさまで東宝グループの映画事業の好調により映像事業部は安定した収益力を継続しています。

Q 近年は映像事業部の業態がさらに多角化しています。

島谷 デジタル化時代においてお客様が日常生活で映

像を目にする機会は多様化し続けています。映画館、ビデオ、スマホ、インターネットと視聴する場所や方法の広がりはもちろん、映画とTVやゲームが連動しての展開など、我々の立場でいう「映像利用の出口」、新しい市場が急速に拡大しています。

大田 加速するデジタルの普及等は、将来的に劇場用パンフレットやビデオソフト事業に影響を与える可能性がある一方で、東宝の新たなビジネスチャンスを生みました。近年、映像事業部は映像のマルチユースの幅を広げ、ODS*配給事業、出版・商品事業、パッケージ事業、テレビ番組の販売・配信、商品化やゲーム化を許諾するライセンス事業にも積極的に取り組んでいます。映像からの派生ビジネス全てをワンストップで展開できる強みをさらに発揮すべく、今年10月には組織改編を行いました。

※ODS(アザー・デジタル・スタッフ):映画館でスポーツやライブステージなど映画以外の映像作品を上映すること。

新分野での企画力とライツが収益を最大化する

Q 特にライセンス事業は今後強化すべき重要な事業とのことですが。

大田 デジタル化で映像を利用するメディアまたプラットフォームが増えるなか、ますます映像コンテンツの価値が高まっています。映像をマルチユースする機会が増えるほど、企画・制作者として権利(ライツ)を保有するコンテンツホルダーであることが重要です。既存事業の基盤を固めつつ、これまで以上に「強い企画」を開発し、「著作権」を確保して多角的に「収益を最大化」することが、これからの映像事業部の重要テーマです。

島谷 東宝は多くの皆様が全国スクリーンで楽しめるメジャーな作品を主体に手がける一方で、従来から映像事業部では100スクリーン以下の映画館で上映する小規模作品やODS配給事業でも自社による企画・制作に取り組んでいます。しかし、映像の裾野は想像以上のスピードで広がっています。例えば東宝はアニメの世界で「ドラえもん」「ポケモン」シリーズ、宮崎駿監督



取締役映像本部映像事業担当
大田圭二



トップインタビュー

の作品など数々の大ヒット作品がありますが、コアなアニメファンが求める分野には手が届いていません。

これまでも東宝は映画界を中心に広い分野の才能ある人々と柔軟に連携するネットワーク力が大きな強みでした。拡大する映像の世界には間違いなく我々が出会っていない新たな才能が生まれているはず。昨年、映像事業部内にアニメ事業室*を設けた意図も、新たな創り手やビジネスパートナーとの出会いが東宝の新しいビジネスチャンス、新しいコンテンツの創造につながると考えたからです。

※現・映像企画室アニメ事業グループ



代表取締役社長
島谷能成



映像事業を拡充する一つの窓口がアニメということですね。

大田 アニメ事業は最も権利利用の幅が広いビジネスの一つです。商品化、ゲーム化、アニメソング、人気キャラクターや声優によるイベントなど多角的なビジネス展開と同時に、高品質な映像を求めるアニメファン向けのBlu-rayの需要や、欧米やアジアなど海外販売も見込めます。ライセンス事業を強化する手段の一つとして、利用窓口を持ちながら、自らが動き、チャンスをもにします。TV用アニメの企画制作も同様に、新しいネットワーク創りを積み上げているところです。

一方で東宝芸能、東宝ミュージック、TOHOシネマズなど、映像ビジネスを多角的に展開するうえで東宝グループのシナジー力は大きな強みでもあります。各部、各社とも連携しながら、映像事業部は常に小回りの利く部署として、東宝が足を踏み入れていなかった分野にも柔軟に取り組んで参ります。

2014年に60周年を迎える世界の「ゴジラ」



東宝には最大の武器ともいえる「ゴジラ」が存在します。

島谷 「ゴジラ」は東宝が権利を保有する最高にして最強のキラーコンテンツです。1954年に日本で生まれ

た映画「ゴジラ」シリーズは海外各国でも上映され、世界中にファンが存在します。日本発の最も有名なキャラクターといっても過言ではありません。そして日本での公開から60周年を記念する2014年夏にいよいよリメイク作品としてハリウッド大作のレジェンダリー版「GODZILLA」*が全世界で拡大公開されます。国内外で展開するマーチャンダイジングの主管部門が映像事業部です。

※過去に「ダークナイト」シリーズ、今夏公開「マン・オブ・スティール」などを製作したハリウッドの製作会社レジェンダリー・ピクチャーズが製作する「GODZILLA」

大田 以前から「ゴジラ」の商品化等は行われてきましたが、前述のとおりメディアの幅は飛躍的に多角化しています。そこで我々は、来年夏に公開されるハリウッド版「GODZILLA」を契機として、東宝の大きな財産である「ゴジラ」を、ファンの皆様に対して、多面的な形で接していただけるよう様々な企画に取り組んでいるところです。

島谷 「ゴジラ」の魅力日本全土はもちろん、全世界の方に新鮮な驚きとともにお届けいたしますので、ぜひご期待ください。これからも東宝は新しい挑戦を重ねながら創業から培った基盤をより強固なものとして参ります。株主の皆様には引き続き、ご支援のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。

Review of Operation Consolidated

TOHOレビューオブオペレーション (連結)

営業の概況

営業収入	98,834	百万円	(前年同四半期比 6.3%減)
営業利益	14,830	百万円	(前年同四半期比 11.2%減)
経常利益	15,822	百万円	(前年同四半期比 11.0%減)
四半期純利益	9,004	百万円	(前年同四半期比 8.6%減)

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主力の映画事業のうち映画営業事業において、興行収入100億円超の宮崎駿監督作品「風立ちぬ」を筆頭に「真夏の方程式」「映画 謎解きはディナーのあとで」などの各作品が順調に稼働し、映画興行事業へも好影響をもたらしました。また演劇事業においては帝国劇場の「レ・ミゼラブル」などが高稼働いたしましたが、映画営業事業部門でメガヒット作品が続いた前上半期には及びませんでした。

その結果、営業収入は988億3千4百万円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益は148億3千万円(同

11.2%減)、経常利益は158億2千2百万円(同11.0%減)、当期純利益は90億4百万円(同8.6%減)となりました。

以下、各事業部門のご報告を申し上げます。

■ 映画事業 (映画営業事業、映画興行事業、映像事業)

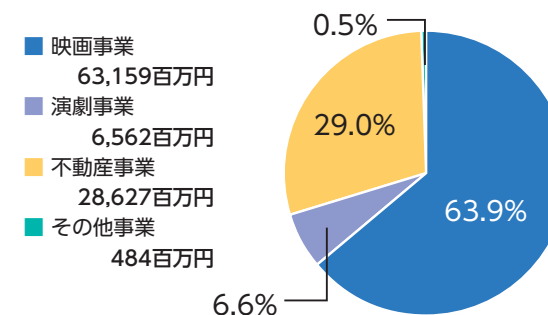
映画営業事業のうち製作部門では、表1の①記載の劇場用映画を共同製作したほか、テレビ朝日放送の金曜ナイトドラマ「警部補 矢部謙三2」を製作いたしました。配給部門では、当社において表1の①及び②に記載の15番組を提供し、東宝東和(株)において「オブリビオン」「ワイルド・スピード EURO MISSION」「ワールド・ウォー Z」等6本を配給いたしました。

その結果映画営業事業収入は208億8千5百万円(前年同四半期比19.4%減)となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において前記各作品の他に、「シュガー・ラッシュ」「ドラゴンボールZ 神と神」「アイアンマン3」「モンスターズ・ユニバーシティ」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は315億8千9百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。また、当社グループの当第2四半期連結累計期間中の劇場異動は表2の通りとなり、東

各事業部門別の状況

当第2四半期連結累計期間事業部門別営業収入比率



■ 「風立ちぬ」
©2013 二馬力・DNDHDDTK

宝興行網の再構築を進展させました。新規オープンした劇場は順調に稼働、当社グループのスクリーン数は9スクリーン増の合計613スクリーン（共同経営56を含む）となりました。また、お客様へのサービス強化として、新規導入した自動券売機の機能向上に注力いたしました。

表1. 当第2四半期連結累計期間中の提供映画作品

① 共同製作・配給作品	
● プラチナデータ	● だいじょうぶ3組
● 名探偵コナン 絶海の探偵	● 図書館戦争
● 県庁おもてなし課	● リアル〜完全なる首長竜の日〜
● 奇跡のリンゴ	● 風立ちぬ
● 映画 謎解きはディナーのあとで	● 少年H
● ガッチャマン	
② ①以外の当社配給作品	
● 映画ドラえもん のび太のひみつ道具博物館	
● 映画クレヨンしんちゃん バカうまっ! B級グルメサバイバル!!	
● 真夏の方程式	
● 劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ 神速のゲノセクト ミュウツー覚醒/ピカチュウとイーブイ☆フレンズ	

表2. 当第2四半期連結累計期間中の劇場異動

月日	劇場名	スリット	場所	経営主体	異動内容
4月18日	OSシネマズ神戸ハーバーランド		9 神戸市	オーエス(株)	オープン

注：オーエス(株)は、持分法適用会社です。

映像事業のうち映像ソフト事業は、当社において表3他の提供を行いました。出版・商品事業は、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「プラチナデータ」「映画ドラえもん のび太のひみつ道具博物館」「名探偵コナン 絶海の探偵」「風立ちぬ」をはじめとする当社配給作品が、洋画では「アイアンマン3」「モンスターズ・ユニバーシティ」等が順調に稼働いたしました。ODS事業は、「コドモ警察」「聖☆おにいさん THE MOVIE」、短編アニメーション「言の葉の庭」を配給いたしました。アニメ製作事業は、新規作品として「サイコパス PSYCHO-PASS」「銀河機攻隊マジスティックプリンス」「ファンタジスタドール」を製作、放送を開始し、また既存著作権の活性化の一環として、DVDと書籍のコラボレーションである昭和の喜劇シリーズのDVDマガジンを発売いたしました。

また、(株)東宝映像美術等各社において、各種テーマパーク、イベント工事等の受注の確保に力を入れましたが、映像事業収入は106億8千4百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

以上の結果、映画事業収入は631億5千9百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

表3. 当社において当第2四半期連結累計期間中に提供した主なビデオ作品

作品・商品名	レンタル用 DVD/Blu-ray (リリース日)	販売用 DVD/Blu-ray (発売日)
あなたへ	3月8日	3月22日
勇者ヨシヒコと悪霊の鍵	4月19日	3月22日
DOCUMENTARY of AKB48 NO FLOWER WITHOUT RAIN 少女たちは涙の後に何を見る?	5月10日	4月26日
悪の教典	5月10日	5月24日
言の葉の庭	7月12日	5月31日
任侠ヘルパー	6月7日	6月21日
タッチ TVシリーズ Blu-ray BOX1	—	7月26日
映画ドラえもん のび太のひみつ道具博物館	8月9日	—
世界にひとつのプレイブック	8月9日	8月23日
タッチ TVシリーズ Blu-ray BOX2	—	8月23日

演劇事業

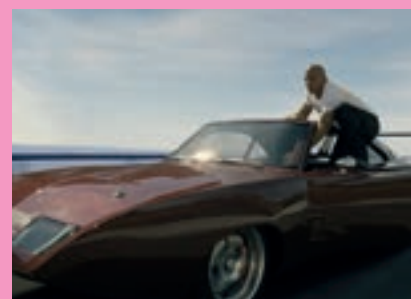
演劇事業では、帝国劇場におきまして、2月から引き続き3月の堂本光一主演「Endless SHOCK」が上演1,000回の大記録を達成し、全席完売の大盛況となりました。4～7月は新演出版「レ・ミゼラブル」が日本初演を迎え、連日大入りで大きな話題となり、7～8月はチャールズ・ディケンズ原作によるミュージカル「二都物語」を上演し、好評を博しました。シアタークリエにおきましては、3月公演「ウェディング・シンガー」、3～4月「私のダーリン」がいずれ

も大ヒット、4月は「トゥモロー・モーニング」が好成績を収め、4～6月の「Live House ジャニーズ銀座」は完売の盛況となりました。6月「天翔ける風に」[TATTOO14]を上演し、7月は「ONE-HEART MUSICAL FESTIVAL」が大入りで、人気のコンサートシリーズとなりました。8月は「宝塚BOYS」「マイ・ロマンティック・ヒストリー」「ヒプナゴギア」と多彩な作品を上演いたしました。また、日生劇場におきましては、3月「屋根の上のヴァイオリン弾き」、5月は新演出による「マイ・フェア・レディ」がいずれも好成績を収めました。社外公演として、4月博多座「Endless SHOCK」、3～5月全国巡演「新版 人生はガタゴト列車に乗って……」、4月巡演「屋根の上のヴァイオリン弾き」、6月巡演「マイ・フェア・レディ」、8月博多座「レ・ミゼラブル」などが部門収益に寄与いたしました。

一方、東宝芸能(株)では主要俳優がCM、イベント、TV番組出演等で着実に稼働いたしました。この結果、演劇事業収入は65億6千2百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。



■ 「少年H」
©2013 「少年H」製作委員会



■ 「Wild Speed EURO MISSION」
©2013 Universal Studios. ALL RIGHTS RESERVED.



■ 「ワールド・ウォーズZ」
©2012 PARAMOUNT PICTURES. ALL RIGHTS RESERVED.



■ 「DOCUMENTARY of AKB48 NO FLOWER WITHOUT RAIN 少女たちは涙の後に何を見る? スペシャル・エディション (Blu-ray2枚組)」
Blu-ray発売中 ¥6,090 (税込)
発売元：©2013 「DOCUMENTARY of AKB48」製作委員会 販売元：東宝



■ 「言の葉の庭」
「劇場アニメーション『言の葉の庭』Blu-ray (サウンド・トラックCD付き) Blu-ray発売中 ¥6,090 (税込)
発売元：コミックス・ウェーブ・フィルム



■ 「聖☆おにいさん THE MOVIE」
©中村光・講談社/SYM製作委員会

■ **不動産事業** (不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業)

不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、再開発中の「新宿東宝ビル」については既存建物の解体工事が完了、昨年7月、新築工事に着手し、工事が順調に進んでおります。また同じく再開発中であった「広島東宝ビル」については今秋9月竣工、10月10日に開業いたしました。東宝スタジオのステージレンタルでは、自社配給作品を中心に「劇場版SPEC ~結~」^{クロス}「劇場版ATARU -THE FIRST LOVE& THE LAST KILL-」^{クロス}「舞妓はレディ」^{クロス}「小さいうち」などの劇場映画の他、TVドラマなど合わせて合計14作品の撮影が行われました。今期から特にCM営業にも力を入れた結果、CMでの稼働日数が前年比1.6倍と高稼働し、映画・CMともに増収となりました。東宝不動産株式会社においては、ビル諸設備等の効果的な改修・改善、テナントへのきめ細かな対応を図るとともに、新規テナントの確保など積極的な営業活動を推進いたしました。これらの結果、不動産賃貸事業収入は150億9千5百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

道路事業では、引き続き公共事業費が抑制傾向にあるため、依然として厳しい事業環境のなか、スバル興業株式会社とその連結子会社が、道路の維持・清掃や補修工

事の受注確保に努めました結果、道路事業収入は91億8千3百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理株式会社、株式会社東宝サービスセンターにおいて、顧客企業のコスト削減傾向が強まるなか、新規事業へ取組むなど努力を重ねましたが、不動産保守・管理事業収入は43億4千8百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

以上の結果、不動産事業収入は286億2千7百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

■ **その他事業**

娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業株式会社の「東宝調布スポーツパーク」、株式会社東宝エンタープライズの「東宝ダンスホール」ではお客様ニーズを捉えた積極的なサービスを提供いたしました。その結果、その他事業収入は4億8千4百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

通期の見通し

我が国経済は、政府による経済対策、金融政策効果などを背景に、企業収益の改善、並びに個人の消費マインドが徐々に持ち直しの兆しを見せておりますが、来年春には消費税の増税が控えており、依然として先行き不透明な見通しが続いております。

映画界におきましては、全国のスクリーン数が飽和状態となり、興行会社の再編や入場料金の価格競争が激化するなど興行各社の生き残りをかけた厳しい状況が続いておりますが、引き続き顧客満足の向上に向けた作品の提供とサービスに努めてまいります。

そのようななか、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,910億円（前期比5.6%減）、営業利益250億円（前期比12.4%減）、経常利益265億円（前期比13.7%減）、当期純利益150億円（前期比10.3%減）をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し（8月末現在）をご説明申し上げます。

■ **映画事業** (映画営業事業、映画興行事業、映像事業)

映画営業事業のうち製作部門では、表4の①に記載の作品を共同製作する他、映画企画部門において、「神様のカルテ2」「青天の霹靂」「春を背負って」「蝸ノ記」を制作、またNHKBSプレミアムドラマ「ハードナッツ！」の制作にも取り組んでまいります。また配給部

門では、当社において表4記載の作品を提供する予定であります。また、東宝東和株式会社において「47RONIN」の配給を予定しております。これらにより、映画営業事業収入は409億円（前期比8.1%減）を見込んでおります。

表4. 当下半期提供予定映画作品

① 共同製作・配給作品	
● 劇場版ATARU -THE FIRST LOVE & THE LAST KILL-	● 謝罪の王様
● 陽だまりの彼女	● 潔く柔く
● 劇場版SPEC ~結~ 漸ノ篇	● 清須会議
● かぐや姫の物語	● 劇場版SPEC ~結~ 交ノ篇
● ルパン三世 vs 名探偵コナン THE MOVIE	● カノジョは嘘を愛しすぎてる
● 永遠の0	● 劇場版HUNTER × HUNTER -The LAST MISSION-
● トリック劇場版 ラストステージ	● 抱きしめたい
● 土曜の唄 潜入捜査官REIJI	
② ①以外の当社配給作品	
● 夢と狂気の王国	

映画興行事業では、TOHOシネマズ株式会社を中心にグループ各興行会社において、前記配給作品に加え、「そして父になる」をはじめ、「ゼロ・グラビティ」「ウォーキングwithダイナソー」「プレーンズ」「黒執事」等の大作・話題作を上映する予定です。これらにより、映画興行事業収入は583億円（前期比6.9%減）を見込んでおります。一方、当社グループの下半期中



■ 帝国劇場「レ・ミゼラブル」



■ シアタークリエ「私のダーリン」



■ 広島東宝ビル



■ 「陽だまりの彼女」
©2013「陽だまりの彼女」製作委員会



■ 「かぐや姫の物語」
2013年11月23日公開
©2013 畑事務所・DNDHDDTK



■ 「トリック劇場版 ラストステージ」
©2014「トリック劇場版ラストステージ」製作委員会/
©テレビ朝日・東宝 2014年1月11日公開

の劇場異動予定は表5の通りとなり、今期末スクリーン数では、10増の合計623スクリーン（共同経営56を含む）となり、引き続き映画興行事業の強化に努めてまいります。今後、ららぽーと船橋をはじめメイン館には壁一面に広がったスクリーンや、壁・床・天井、そしてシートのカラーをダーク系に統一することでスクリーン以外の光の反射を軽減させ、暗室効果を高めたラージスクリーンを導入し、鑑賞環境の向上を図ります。

表5. 下半期中の劇場異動予定

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
11月16日	TOHOシネマズ 船橋ららぽーと	△10	千葉県船橋市	TOHOシネマズ㈱	閉館
11月22日	TOHOシネマズ ららぽーと船橋	10	千葉県船橋市	TOHOシネマズ㈱	オープン
11月28日	TOHOシネマズ市原	10	千葉県市原市	TOHOシネマズ㈱	オープン

映像事業のうち映像ソフト事業は、レンタル及びセル用作品として「プラチナデータ」「県庁おもてなし課」^{フライング・ドッグ}「奇跡のリンゴ」「名探偵コナン 絶海の探偵」等の映画作品、TVアニメーション「ファンタジスタドール」、人気シリーズ「劇場版トリック」の完全版Blu-ray等のバラエティに富んだ作品群を提供いたします。出版・商品事業は「劇場版ATARU -THE FIRST LOVE & THE LAST KILL-」「清須会議」「かぐや姫の物語」「永遠の0」等のパンフレット、キャラクターグッズを、また「東宝カレンダー 2014年版」

を提供いたします。ODS事業は「鷹の爪GO～美しきエリエール消臭プラス～」「トミカ☆プラレール映画まつり」「JUDGE/ジャッジ」等のラインナップで臨み、アニメ製作事業はTVアニメーション「メガネブ!」「弱虫ペダル」の放送が開始となり、商品化や番組販売ビジネスにも注力し、一方、実写製作事業では新規作品の共同製作や既存著作権の利用に努めてまいります。また、(株)東宝映像美術等各社で、引き続きコスト削減に努めながら、イベント工事、番組制作等の受注を図ってまいります。映像事業収入は213億円（前期比8.4%減）の見込みです。

以上の結果、映画事業収入は1,205億円（前期比7.6%減）を見込んでおります。

■ 演劇事業

演劇事業では、帝劇は9月に内容を一新した「DREAMBOYS JET」、10月は瀬奈じゅん・鹿賀丈史らの出演で「エニシング・ゴーズ」、11月は「レ・ミゼラブル」が全国巡演を経て、凱旋公演を果たします。12～1月は、「JOHNNYS' 2020 WORLD」を上演いたします。シアタークリエでは、9月「ネクスト・トゥ・ノーマル」、10月「ソング・ライターズ」、11月は待望の再演「ええから加減」、12月は人気シリーズの「CLUB SEVEN 9th stage!」を上演いたします。その後も、1月は「クリエ・ミュージカル・コレクション」、KREVAの新しい音楽劇「最高はひとつじゃ

ない 2014」、2月は「Paco～パコと魔法の絵本～」と話題作を提供して参ります。日生劇場では、10月「ABC座2013 ジャニーズ伝説」、12月は石丸幹二主演の「モンテ・クリスト伯」を上演し、社外公演では、「レ・ミゼラブル」を9月大阪、10月名古屋へ展開するほか、「Endless SHOCK」「売らでいか!」等の東宝演劇公演を積極的に全国へと展開いたします。

これらの結果、演劇事業収入は138億円（前期比4.9%減）を見込んでおります。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、「広島東宝ビル」が9月に竣工したことにより、今期の業績への寄与を見込んでおります。現在再開発中の「新宿東宝ビル」については鋭意工事を進捗させます。また、長期的視野に立った設備改修や再開発等の企画立案を通し、全国に所有する不動産の有効活用を努めます。東宝スタジオでは、映画製作費はまだまだ削減傾向にあり、製作現場を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くようですが、今期も引き続き各社の大型作品を中心にご利用いただきます。さらにCMも積極的に誘致することで、売上向上に努めるとともに製作現場の期待にも応えて参ります。また東宝不動産(株)においては、テナントに対するきめ細かな対応と意思の疎通に心掛けるなど積極的な営業活動により業績の向上を目指して参ります。さらに、全国各地で不

動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けて参ります。これらの結果、不動産賃貸事業収入は296億円（前期比0.1%増）を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社が、工事の効率化に努め、受注拡大を図ってまいります。この結果、道路事業収入は173億円（前期比2.2%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)及び(株)東宝サービスセンターが、低価格競争が続く事業環境下において、コスト削減とともに受注拡大に取り組んでまいります。不動産保守・管理事業収入は89億円（前期比2.6%減）の見込みです。

以上の結果、不動産事業収入は558億円（前期比1.0%減）を見込んでおります。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業(株)の「東宝調布スポーツパーク」や(株)東宝エンタープライズの「東宝ダンスホール」において新規顧客の獲得に努めますが、その他事業収入は9億円（前期比10.4%減）の見込みです。

（注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。）



■ 「47RONIN」
©Universal Pictures



■ 「メガネブ!」
©2013 メガネブ!プロジェクト/メガネブ!製作委員会



■ 「弱虫ペダル」
©渡辺航（週刊少年チャンピオン）/弱虫ペダル製作委員会

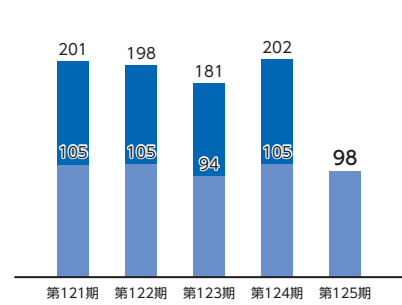


■ 帝国劇場「DREAMBOYS JET」

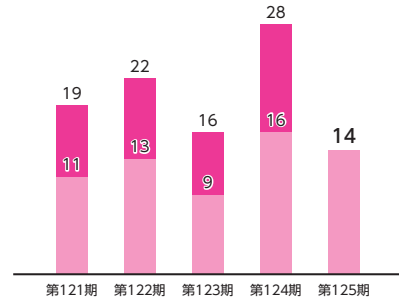


■ シアタークリエ「ネクスト・トゥ・ノーマル」

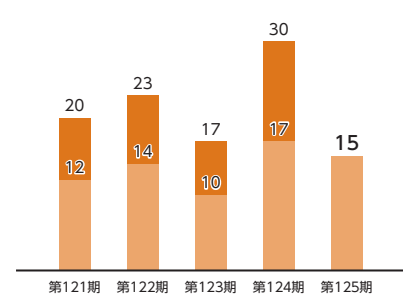
●営業収入 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



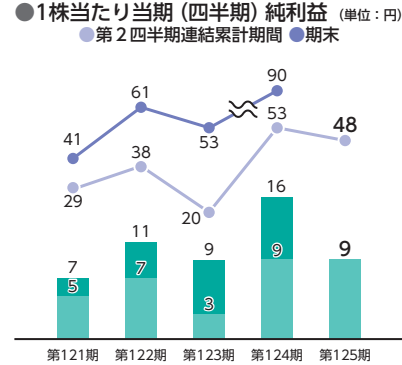
●営業利益 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



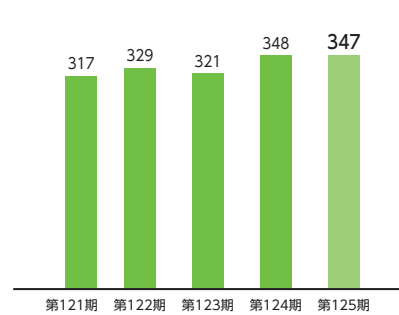
●経常利益 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



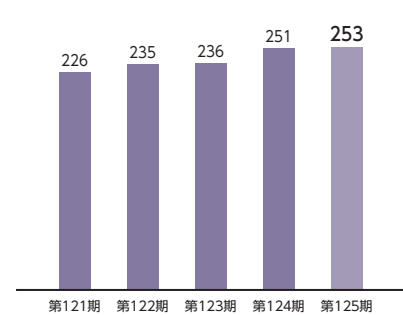
●当期(四半期)純利益 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



●総資産 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



●純資産 (単位：十億円)
■第2四半期連結累計期間 ■期末



中間配当金について

中間配当金につきましては、既にご案内のとおり、1株5円と決定させていただきます。

下半期も引続き一層の経営の充実をはかり、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

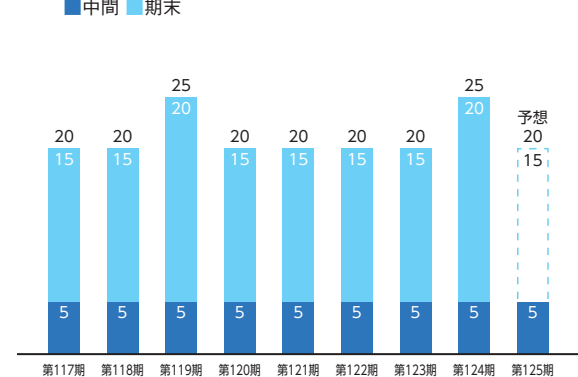
中間配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の中間配当金領収証により、払渡期間(平成25年11月6日～平成25年12月6日)中に、ゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。(同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口にお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。)

また、口座振込をご指定の方は同封の「中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

通期の配当予想について

上半期の業績に通期業績予想を加味し、期末の配当金は、普通配当5円に加え、特別配当10円の計15円、中間配当金と合わせまして年間配当計20円を予想いたしております。

1株当たり配当金の推移



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間	前連結会計年度
	平成25年8月31日	平成25年2月28日
資産の部		
流動資産	87,581	99,565
固定資産	259,689	249,032
有形固定資産	158,443	156,552
無形固定資産	10,233	8,782
投資その他の資産	91,012	83,698
資産合計	347,270	348,597
負債の部		
流動負債	45,902	51,848
固定負債	47,559	45,481
負債合計	93,461	97,330
純資産の部		
株主資本	226,253	220,975
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	13,837	13,837
利益剰余金	207,514	202,219
自己株式	△5,453	△5,437
その他の包括利益累計額	17,696	14,092
少数株主持分	9,858	16,199
純資産合計	253,808	251,267
負債純資産合計	347,270	348,597

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成25年3月1日から平成25年8月31日まで	平成24年3月1日から平成24年8月31日まで
営業収入	98,834	105,495
営業原価	58,388	61,499
売上総利益	40,446	43,995
販売費及び一般管理費	25,615	27,286
営業利益	14,830	16,708
営業外収益	1,139	1,200
営業外費用	147	123
経常利益	15,822	17,785
特別利益	136	95
特別損失	472	511
税金等調整前四半期純利益	15,486	17,370
法人税、住民税及び事業税	5,635	5,907
法人税等調整額	315	1,195
法人税等合計	5,950	7,103
少数株主損益調整前四半期純利益	9,535	10,266
少数株主利益	531	414
四半期純利益	9,004	9,852

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成25年3月1日から平成25年8月31日まで	平成24年3月1日から平成24年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,391	23,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,343	△1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,917	△3,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,825	18,241
現金及び現金同等物の期首残高	57,667	38,917
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	10	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,853	57,159

Corporate Data

会社概要

■会社概要 (平成25年8月31日現在)

会社名 東宝株式会社
 設立 昭和7年8月12日
 資本金 10,355,847,788円
 従業員数 385名
 但し、嘱託13名、出向受入者40名を含み、
 出向者100名を含みません。
 本社 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

■役員 (平成25年10月1日現在)

代表取締役
取締役社長 島谷 能成 映像本部長
内部監査室直轄

代表取締役
取締役副社長 千田 諭 映像本部統括兼同映画営業、
同国際各担当

専務取締役 中川 敬 不動産経営、スタジオ各担当

専務取締役 高橋 昌治 人事、総務各担当
兼経営企画管掌

常務取締役 浦井 敏之 経理財務、情報システム各担当
兼特定取締役

取締役 角 和夫 阪急阪神ホールディングス株式会社
代表取締役社長

取締役 石塚 泰 人事担当補佐

取締役 太古 伸幸 経営企画担当兼経営企画部長

取締役 新坂 純一 映像本部宣伝担当

取締役 山下 誠 不動産経営担当補佐兼
スタジオ担当補佐

取締役 市川 南 映像本部映画調整、
同映画企画各担当兼同映画調整部長

取締役 瀬田 一彦 TOHOシネマズ株式会社
代表取締役社長

取締役 池田 篤郎 演劇担当兼演劇部長

取締役 大田 圭二 映像本部映像事業担当兼
同映像事業部長

常勤監査役 村上 主税 監査役会議長兼特定監査役

常勤監査役 沖本 友保

監査役 大西昭一郎 弁護士

監査役 小林 節 株式会社パレスホテル
代表取締役社長

Investor Information

株式情報 (平成25年8月31日現在)

■株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式の総数 188,990,633株
 (自己株式3,496,753株を含む)
 株主数 28,138名
 (前期末比938名減)

■大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.29
阪急不動産株式会社	15,150	8.16
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	13,664	7.36
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.66
株式会社TBSテレビ	4,521	2.43
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,311	2.32
株式会社電通	3,779	2.03
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,685	1.98
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,262	1.75
株式会社丸井グループ	3,223	1.73

(注) 持株比率は、自己株式3,496,753株を控除して計算しております。

TOHO Group

東宝グループ概要

映画製作・配給

(株)東宝映画
 東宝東和(株)
 (株)東京現像所

映画興行

TOHOシネマズ(株)
 北海道東宝(株)
 関西共栄興行(株)

映像の製作・販売

東宝ミュージック(株)
 (株)東宝映像美術
 (株)東宝コスチューム
 東宝舞台(株)
 東宝アド(株)
 (株)東宝ステラ

演劇事業

東宝芸能(株)
 (株)東宝エージェンシー
 (株)コマ・スタジオム

不動産の賃貸等

国際放映(株)
 三和興行(株)
 東宝不動産(株)
 萬活土地起業(株)

道路事業

スバル興業(株)

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター
 東宝ビル管理(株)

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)
 (株)東宝エンタープライズ

持分法適用会社

オーエス(株)
 (株)東京楽天地

(上記を含めて合計
 連結子会社37社、持
 分法適用会社4社)

永遠の0

2013年 12月21日(土)

全国東宝系ロードショー

東宝

INTRODUCTION

その奇跡に、日本中が涙する。

300万部を超える感動のベストセラー、待望の映画化!

2006年の初版当時から口コミで売れ続け、いまや累計発行部数300万部を超える国民的ベストセラーとなった感動作「永遠の0」(百田尚樹著)。その珠玉の物語に感銘を受けて映画化を熱望したのは『ALWAYS 三丁目の夕日』シリーズで日本アカデミー賞を席卷した山崎貴監督。出演者には、主人公のゼロ戦パイロット・宮部久蔵=岡田准一をはじめ、現代から宮部の謎に迫る青年・佐伯健太郎=三浦春馬、宮部の妻・松乃=井上真央ほか、濱田岳、新井浩文、染谷将太、三浦貴大、上田竜也(KAT-TUN)、吹石一恵、田中泯、山本學、風吹ジュン、平幹二郎、橋爪功、夏八木勲といった実力派かつ個性的な俳優陣が集結。主題歌は、この夏ついに復活を遂げたサザンオールスターズによる『蛍』。映画に強く共感した桑田佳祐が書き下ろした、美しくも壮大なバラードは“歌が流れるエンディングでもう一度泣ける”名曲。同グループとしての映画主題歌提供は実に23年ぶり、今世紀初となる。日本最高峰のスタッフ・キャストが贈る、今年度NO.1のエンターテインメント超大作がついに動き出す!

出演 岡田准一 三浦春馬 井上真央

濱田 岳 新井浩文 染谷将太 三浦貴大 上田竜也
 吹石一恵 田中 泯 山本 學 風吹ジュン 平幹二郎
 橋爪 功 夏八木勲

原作 百田尚樹「永遠の0」(太田出版)

監督・VFX 山崎 貴 脚本 山崎 貴/林 民夫

音楽 佐藤直樹

©2013「永遠の0」製作委員会

■株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日
定時株主総会 5月中
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
基準日 定時株主総会 2月末日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
臨時に基準日を定める。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-711 (通話料無料)

※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は
電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットホームページ

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告掲載URL

http://www.toho.co.jp/toho_ir/

〔ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告ができない場合は、日本経済新聞に
掲載する方法によって公告いたします。〕

中間配当決議通知はがきの郵送廃止のお知らせ

中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、昨
年まで「中間配当に関するお知らせ」と題した郵便はがきをお送
りさせていただきましたが、本年（第125期）より同はがきの郵送
を廃止させていただきます。今後は、同はがきに替えて当社ホ
ームページ (<http://toho.co.jp>) および中間報告書にてご案内さ
せていただきます。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●表紙のご紹介

●『メガネブ!』 TOKYO MXテレビ他にて放送中

●『弱虫ペダル』 テレビ東京系列各局にて放送中

東宝株式会社

〒100-8415

東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

総務部 電話 (03) 3591-1214

<http://www.toho.co.jp>

■株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行 シート数 (半年につき)
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000～1,999株	1枚	0枚	1シート
2,000～2,999株			2シート
3,000～4,999株			3シート
5,000～9,999株	1枚	6シート	
10,000～19,999株	2枚	10シート	
20,000～29,999株	3枚	3枚	15シート
30,000～49,999株			20シート
50,000～99,999株			25シート
100,000株以上			30シート

- 株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館
チケット売場等でご提示いただき、双方に記載された優待番号
が一致したとき、ご利用いただけます。
- 株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または
11月中旬となります。
- 1シートは、**指定2ヶ月間通用券**×6枚となります。
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：**6・7月、8・9月、10・11月
通用各2枚。**
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：**12・1月、2・3月、4・5月
通用各2枚。**

株主映画ご優待券交付基準 (800円で映画をご覧いただけます)

100～499株	半年 2枚	500～999株	半年 8枚
----------	-------	----------	-------

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月
下旬に発行。

8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を
11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」
「株主優待」をご覧ください。



適切に管理された森林資源を用紙の
材料にしています。



VOC (揮発性有機化
合物)の発生が少ない、
ベジタブルインクを
使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。